

# 児童が通学・散歩する道路の交通安全対策などの 補正予算 937百万円を可決!



令和元年11月市会では、補正予算937百万円を可決させて頂きました。とりわけ、同年5月に滋賀県大津市で発生した保育園児等を巻き込む交通事故を踏まえた、児童の皆様が通学、散歩等で通られる経路における交通安全対策事業など、市民の皆様の生活に資する大切な補正予算でありました。

## 補正予算の概要

児童の移動経路における交通安全対策事業	81,000千円
対米・対EU牛肉輸出認定の取得に向けた設備導入等	72,000千円
美術館基金への積立て	100,000千円
職員給与改定等	684,000千円

滋賀県大津市で発生した痛ましい交通事故を受け、京都市において、このような事態が発生しないようにとの思いで、市内の保育園や幼稚園などの施設に通う児童が、日常的に利用する道路について、子ども若者はくくみ局が中心となって情報収集を行い、安全対策が必要な箇所1、027箇所を特定しま

した。その全ての箇所に電柱幕を設置（交差点等の電柱に交通車両への注意喚起のための幕の取り付け）するための予算として31百万円。また、このうち、ハード対策が必要な箇所228箇所を特定し、防護柵、車両通行帯及び徐行を促す路面標示等を126箇所に設置するための予算として50百万円を確保しました。我が会派としても、痛ましい事故を二度と発生させな

# 自民党 京都市会議員団 ニュース

令和2年(2020)1月12日発行

■発行人/橋村芳和  
■編集委員/森田守、加藤昌洋、平山たかお  
〒604-8571 京都市中京区河原町御池  
TEL.075(222)3718~23 FAX.075(257)3091  
http://jimin-kyoto.jp/



## 児童の移動経路における交通安全対策の取組状況

<b>ソフト対策</b> 交通車両への注意喚起のため電柱幕を設置(11月補正予算)	1,027箇所
<b>ハード対策</b> 防護柵、車両通行帯及び徐行を促す路面標示等の設置	228箇所
当初予算で実施済み	19箇所
今後実施予定	209箇所
当初予算で実施するもの	28箇所
11月補正予算で実施するもの	126箇所
次年度以降、交差点の拡幅などの抜本的対策を講じるもの	55箇所

「50のちひん」を以て、安心安全を実感できる社会を実現するために「日本社会の活力向上、日本全体の地方創生の推進に、京都が積極的な役割を果たすために」国土の調和ある発展のために「大都市財政の実態を踏まえた財源の確保等」を要望の4本の柱に据え、京都市の様々な施策を前進させるための、国との連携・取組強化を訴えてまいりました。

二元代表制の一翼を担う京都市会最大会派である自民党京都市会議員団が、各省庁幹部に対して、直接京

## 国への要望行動



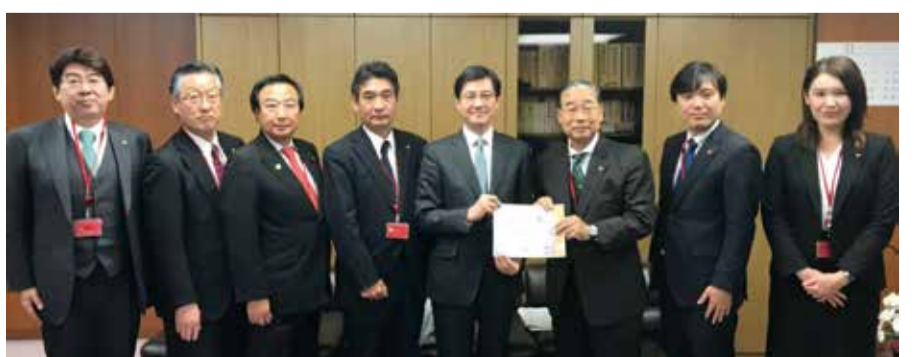
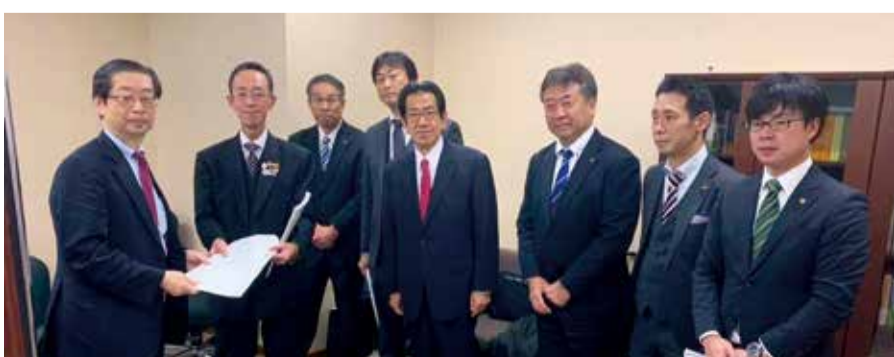
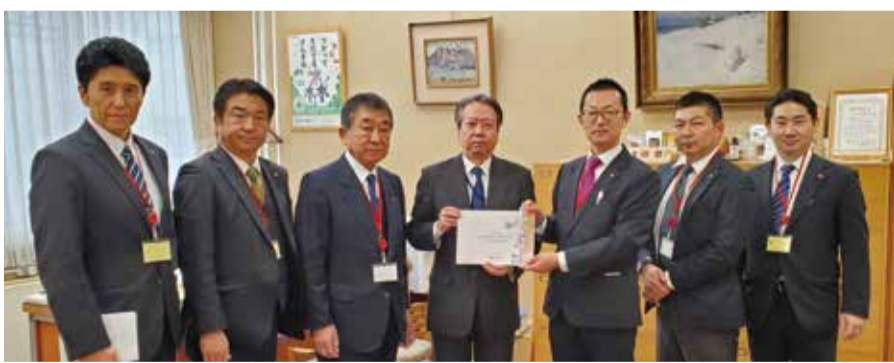
自民党京都市会議員団は、11月26日・27日の2日間をかけて省庁を訪れ、国の施策・予算に関する緊急提案・要望活動を実施しました。

都市の現状を伝えることは大変有意義であると考えています。今後国との理解と協力のもと、政策の実現を果たして参ります。

いこの強い思いをもって、対策が必要な場所として選定した箇所の交通安全対策をしっかりと行えるよう、予算措置を後押しする議論をした次第であります。

そのほか、美術館基金への積立て（ネーミングライツ料）や中央市場における

新たな設備導入（第3面に詳しく記載）など、最大多数の責任政党自民党として、しっかりと議事をリードしました。引き続き、皆様方のお声、思いは、我々、自由民主党京都市会議員団まで、お寄せ頂きますようにお願い致します。



# 子どもたちを豊かに育む環境の整備

## 魅力と活力を高め人口増へ 市内周辺部における用途制限、建築規制緩和へ！

山科区

### 吉井あきら議員

■吉井あきら議員（質問）京都の将来を展望し、持続可能な京都のまちづくりを進めるためには、市内周辺部の活性化を積極的に図ることが、とりわけ重要と考えます。お考えをお聞かせください。  
周辺地域における用途制限や建築規制等の緩和を検討してはどうでしょうか。

■門川大作市長（答弁）特色

### ●吉井あきら議員の質問項目●

- 1 財政健全化に向けた具体的な方策の検討について
- 2 都市の持続性と市内周辺地域の活性化に向けた用途制限や建築規制等の緩和について
- 3 交通便利性の高い市街地にある国有地（京都刑務所、京都拘置所、京都運輸支局）の有効活用に向けた取組と移転先の具体化について
- 4 地下鉄烏丸線への可動式ホーム柵の設置について
- 5 地下鉄・市バスの通学定期券の割引拡充について（要望）

ある多様な市内周辺地域のポテンシャルを十分に引き出し、魅力と活力を高めることが、まずもって重要と

立地条件等をもとに、市内を中心に移転先に関する情報収集を幅広く行い、早急に具体的な提案ができるよう取り組むなど、国有地の有効活用を必ず実現するとの強い決意の下、全力を挙げてまいります。

考えており、都市の将来像と地域特性を見据え、建物用途や規模制限の見直しを検討するなど、より戦略的に都市計画手法を活用してまいりますと考えております。



出典：地理院地図に吹き出しを追記して掲載

### 京都刑務所移転先 市内中心に 具体的検討へ！

■吉井あきら議員（質問）京都刑務所敷地をはじめとする国有地の有効活用を実現するために、移転先を具体化するなど、課題を解決していく必要がありですが、国の理解・協力を得ながら、今後、どのように取り組まれるのか、市長の決意を含めてお聞かせください。

■門川大作市長（答弁）国と良好な関係を維持しながら意見交換を重ねる中で得られた

### 可動式ホーム柵 北大路駅設置へ！

■吉井あきら議員（質問）ホーム柵の設置は、視覚に障害のある方をはじめ、ご利用者の命にかかわることであり、1日も早く全駅設置が望まれるものであり、安全への投資は惜しむべきでないと考えますが、同時に将来の財政負担をしっかりと見据えることも必要です。収支見直しを含め、現在の検討状況について、お答えください。

■鈴木章一郎副市長（答弁）吉井議員御指摘のとおり、視

覚に障害のある方の御利用が多く、京都府視覚障害者協会から陳情も頂いている北大路駅において、何とか早期に可動式ホーム柵を設置できない

ものか検討を進めてまいります。北大路駅への可動式ホーム柵の設置については、多額の費用を要する車両改造を行う

ことなく、乗務員が手動で列車の停止と柵の開閉を行う現行の手法が活用できると考えており、令和4年度中の設置を目指してまいります。

## 地域経済の活性化に寄与するMICEの振興

### 国連犯罪防止刑事司法会議「京都」の開催

### 安心・安全な日本・京都を世界に向けてアピール

### 下村あきら議員

■下村あきら議員（質問）質

の高い外国人観光客等の誘致をはじめとする今後のMICE振興、特にIR対策や間近に迫った「京都コンGRESS」等にかける市長の意気込みと必要な予算や組織体制等、会議を成功させるため、どのような支援・協力を予定されているのか、お聞かせください。

■門川大作市長（答弁）国内

外でIRの誘致や大型会議場の新設が進んでおりますが、本市としては、寺社との連携や伝統文化・伝統産業の活用等、京都の魅力を最大限に活用したMICEを一層推進するほか、IRへの訪問客が京都にも訪れ、賑わいと経済効果が確実に波及するよう、都市間連携やPRを強化して参ります。また、「京都コングレ

### ●下村あきら議員の質問項目●

- 1 今後のMICE振興と京都コンGRESSの開催支援について
- 2 都市公園の更なる機能向上について
- 3 持続可能な地域社会の実現に向けた環境学習の充実について
- 4 水道事業における防災対策について
- 5 五条以南の高瀬川の整備について（要望）
- 6 防災服の抜本的な見直しについて（要望）

### 都市公園の機能向上 トイレトパーパー の設置へ

もてなし等を実施するためには必要は予算を確保し、法務省とも十分に連携し取り組んで参ります。

■下村あきら議員（質問）変化する社会情勢や多様化する市民のニーズを踏まえ、今後、地域コミュニティの核となり得る都市公園の役割をどのように捉え、質的・機能的な充実をどのように進めていくのか。また、利用者にとって使いやすい、魅力ある公園とするための環境改善について、考え方をお聞かせください。

■門川大作市長（答弁）社会

情勢や住民ニーズを的確に捉え、トイレの利用環境の改善をはじめとする快適性・利便性の向上、かまどベンチ、防災マンホールトイレなどの設置による防災機能の強化さらには健康長寿に資する公園づくりを積極的に進めることなどにより、公園が地域コ

### 五条〜七条の 高瀬川の再整備を！

■下村あきら議員（要望）高瀬川の護岸改修や水枯れを防止するための再整備は、令和2年度末には五条通までが完成予定です。魅力ある高瀬川が、今後50年〜100年も輝き続けることができるよう、五条通から七条通の間の再整備を引き続き実施していただくことを要望します。



有隣公園の北西側からの眺望

【代表質問】 11月市会 (12月4日)

# 女性が輝ける社会の実現に向けて

## 女性の活躍推進について

### 男性の意識改革を重点テーマに

●左京区

#### 豊田恵美議員

■豊田恵美議員 (質問) 全国的にも女性の就業率は7割近くまで上昇しましたが、女性の就業・キャリア形成にはいまだ多くの障壁が残されています。女性が輝ける躍動感あふれる社会の実現のためには、

- 豊田恵美議員の質問項目●
- 1 女性の活躍推進について
- 2 男女共同参画の視点に配慮した避難所づくりについて
- 3 小児難聴に関する施策の充実について
- 4 児童虐待対策におけるコンビニエンスストアの活用について
- 5 岡崎地域の更なる魅力活性化について (要望)

結婚・出産後も女性が社会で活躍し続けられる社会システムの構築、家庭生活・地域活動・社会貢献を両立できる新しい働き方改革、若い世代の結婚・出産・子育ての希望を叶える環境整備が、喫緊の課題です。女性の活躍推進は女性だけに働きかけても限界があり、抜本的な男性の意識改革が必要です。男性の家事・育児参加の促進を強力に進めていく必要があると考えますが、本市のお考えをお聞かせ下さい。

■門川大作市長 (答弁) 男性の家事・育児参加の促進については、女性の活躍推進の土台となることに加え、家族の絆を深め、男性自身の成長や地域活動のきっかけともなり、少子化の克服に有効であります。次期男女共同参画計画においても重点的なテーマに据え、女性の活躍の定着、そして性別に関わらず誰もが仕事・家庭・地域でいきいきと活躍できる真のワーク・ライフ・

バランスの実現に向け、企業・社会の意識改革の取組をしっかりと進めます。

#### 児童虐待対策にコンビニエンスストアの活用を

■豊田恵美議員 (質問) コンビニエンスストアへの来店により児童虐待が発見された事例は多く、児童虐待の防止や救済にコンビニが果たせる役割は非常に大きい。児童虐待は発生予防の観点で捉えることが非常に重要であり、身近なコンビニが「ま

# 日本の食肉を 京都から世界へ

## 対米・対EUの牛肉輸出認定の前倒し取得へ向け補正予算

京都市では、京都市中央食肉市場を安全・安心・良質な食肉の安全供給や輸出機能を有する拠点として再整備をし、平成30年4月から新棟の運用を行っています。輸出認定については同11月にタイ・マカオの牛肉輸出施設の認定を取得し、平成31年2月に輸出第1号をタイへ出荷しています。また、シンガポール・台湾・ベトナム・フィリピンの輸出認定取得に向けても取組が進められています。11月市会で

待は発生予防の観点で捉えることが非常に重要であり、身近なコンビニが「ま

### 日本の明日を切り拓く

児童虐待の根絶を図り、子供の命を守ります。  
「虐待かも」と思ったら 189へ  
※匿名でかけられます

「気づき」の窓口の一つとして、虐待の未然防止や早期発見の役割を担って頂くことも含め、今後、各事業者と連携し、具体的な方策等について検討してまいります。

提案された補正予算では、こういったアジア諸国の輸出認定のみではなく、アメリカやEUに輸出するために必要な基準を満たすための設備等の導入が行われることとなりました。

対米・対EUへの輸出認定取得に当たっては、と畜の放



血工程をこれまでの寝かせ放血から吊り下げ放血とする必要があり、食肉の瑕疵の発生の可能性が高まるため、平成31年1月から実用化された最新の設備を導入し、その低減を図るものです。

#### 議第229号

### 令和元年度京都市中央卸売市場 第二市場・と畜場特別会計補正予算 に対する付帯決議

今般、対米・対EU牛肉輸出認定の取得に伴い、と畜の放血工程を寝かせた状態で行う方法(寝かせ放血)から、吊り下げた状態で行う方法(吊り下げ放血)への変更が必要となるが、その際枝肉のかし発生率が、新技術を活用しても高まること懸念される。世界最高の衛生水準による認定取得の効果は大きく期待されることであるが、同



時にかし発生に対する対策を講じる必要もある。 については、国に対して現状を説明したうえで、技術的、財政的な支援を求めるとより一層の対策を講じること。(賛成会派等) 全会派等



この補正予算に対し、我々自民党市会議員団は国からの支援を求めることを京都市に求める付帯決議(右記参照)を提案し、可決されました。

左京区 さくらい 泰広



行財政改革の徹底、歳出では投資的経費を増やし経済の好循環と、市民生活の質の向上に資する道路建設や災害予防のための公共事業に、積極的に取り組むことが必要であると考えます。

中京区 津田 大三



厳しい財政状況の中で、事業の精査は当たり前ですが、緊縮一辺倒に陥る事なく、投資的経費が強い経済を作るよう、結果や効果も含めた検証を行うことが、真に持続可能な財政運営を確立する。

東山区 平山 たかお



自らの銀行出身の経験を活かし、バランスシートで財政を考え、行政運営をチェックしていきます。また、宿泊税や税外収入等、京都市の稼ぐ力にも着目をし、様々な議論を重ねて参ります。

山科区 吉井 あきら



子どもたちを豊かに育むことができるまちであることが重要です！魅力あるまちづくり！まちに活力を与え、人口が増え、住みよい、住み続けたいまちに！

南区 しまもと 京司



市財政は民間資本を社会に呼び込み、税だけでは賄えない市民施設や福祉施策等に交換する心臓・ポンプの役割です。持続可能な投資をも断つ単純緊縮は逆効果。バランス政策で活性確実健全化。

右京区 井上 よしひろ



本市においては非常に厳しい財政状況であるが、持続可能な都市の構築に向けて、街の活力の維持・向上と安心・快適に暮らし続けられる京都ならではの取組が必要である。

伏見区 繁 隆夫



厳しい財政の中にあっても未来の投資を怠ってはいけない。らかな進都に唯一残された大規模な国有地(京都拘置所、京都運輸支局)を活用し、伏見区、そして京都経済の活性化を図る必要がある。

北区 山本 恵一



厳しい財政状況にありますが、歳入を確保し、何よりも市民生活を守り、真に必要な政策・施策を見極め、推進することが重要です。未来の京都づくりに向けて、議論を進めてまいります。

自由民主党市会議員団に聞きました。

# 未来に向けて 持続可能な 京都市財政について

〒604-8571 京都市中京区河原町御池 自民党京都市会議員団 jimin3@nifty.com FAX.257-3091

皆さんのご意見・ご要望をお寄せ下さい

左京区 豊田 恵美



財政基盤強化の為に、経済活性化により、人口や税収を増やしていくことが重要です。都市としての魅力・活力を高めるという明確な戦略を持ち、健全な都市経営の議論を進めてまいります。

中京区 加藤 昌洋



厳しい財政状況のもと、支出の徹底的な見直しはもちろんのこと、官民協働での事業の推進、税外収入を含めた歳入増加等といった様々な取組を議会において、しっかりと提言して参ります。

山科区 富 きくお



本市の財政状況は極めて厳しく、業務の効率化・更なる民間活力の導入・国、府との連携で経済の好循環を加速、税収増を図り持続可能な財政運営を確立し、豊かさを実感できる未来の京都づくりを。

下京区 下村 あきら



持続可能な財政には国・府との確かな連携を基盤に、人口減少・少子高齢化の進展等、社会経済の変化に柔軟に対応し、人々が住みやすい魅力あるまちづくり政策等の一層の推進が大切。

南区 棕田 隆知



本市は、福祉と教育は絶対後退させないという信念のもと、助け合い・分かち合い・支え合う施策を実行しています。しかしながら、財源収入が少なく、早急にその対策を行うことが必要です。

右京区 田中 たかのり



更なる魅力ある(わくわくする)京都づくりには、安定した財源が必要である。そのために、既存の財源だけでなく、独自財源(宿泊税拡充、ICOなど)を考え、いかなければならない。

右京区 森田 守



今まで以上に事業の見直しを徹底することで、行財政改革を押し進め、将来世代に負担を先送りすることのないよう、議会としての行政に対するチェック機能をしっかりと果たします。

西京区 田中 明秀



徹底した事業の見直しによる歳出の削減。周辺部の活性化により人口減少を食い止めるとともに、観光客の分散化で市内全域を活性ある街に。それにより税収増を図っていく。

西京区 西村 義直



一四七万京都市民が安心して生活していくために安定した財政を持続することは、極めて重要なことです。福祉向上や自然災害など厳しい現状を前進させるための財政計画が急務です。

伏見区 橋村 芳和



持続可能な財政を確立するには、何より税収を増やすことが必要です。京都市と地元伏見区の間、域経済を活性化させ、市民の皆様にも豊かさを実感していただくことにより、更なる好循環を。

伏見区 みちはた 弘之



子宝社会の推進をし、豊かな長寿社会の保障、地元の魅力を拡大、安心安全社会の向上を目指し、行財政改革を推進して、未来に向けての持続可能なまちづくりを推進するため、邁進します。

上京区 中村 三之助



SDGsの達成が重要です。17の国際目標を2030年までに世界の全て国・地方自治体・民間企業も達成に取り組みなければなりません。これ無くして未来財政の持続は無いですよ。

上京区 寺田 一博



歳入につきましましては、市税を増やしても国からの交付税が減らされる現在のルール上では税外収入の増加が必要です。同時に歳出を今まで以上に市民の皆様に見える形で再構築する必要があります。